

飛鳥 高等学校 令和5年度（1年次用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1年次 1組～6組

教科担当者：會田哲也 阿部浩子 片岡恭平 兼子千明 佐藤恵 春川紀子 南島順子

使用教科書（『探求 現代の国語』（桐原書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		話 ・ 聞	書	読					
A 単元 【知】のコミュニティへ 【知識及び技能】 ・随想の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉を通じて他者理解についての筆者の考えを読み取ったうえで、自らの経験に照らして自分なりの言語観を持つ。	教材：『わからないぐらいがちょうどいい』最果タヒ ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】全文を正しく音読している。 【知】詩人でもある筆者ならではの特徴的な語彙や文章表現を探し、その効果を理解している。 【知】自分のことを他者に伝える際、「自分をデフォルメ」するとはどういうことか、正確に読み取っている。 【思】筆者が考える、言葉を通じて他者を理解することの限界について読み取っている。 【思】筆者が理想とする、言葉のあり方や他者理解のあり方について理解している。 【思】「きっと人は、ちょっとわからないぐらいがちょうどいい。」という筆者の考えに対して自分なりの考えを持ち、話し合いができる。 【態】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】言葉を通じて他者理解についての筆者の考えに、自らの経験に照らし合わせて自分なりの言語観を持ち、深めている。 【態】最果タヒの他の著作や、「言葉」や「他者」を論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	○	○	○	3
B 単元 評論 解析A 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の気づきや発見から見えてくるもののあり方や哲学などの事柄について、自分なりに考えを深める。	教材：『マヨネーズの穴から』原研哉 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】全文を正しく音読している。 【知】文末の強い言い切りや読み手に訴える言い回しなどに注目して、主要な見解をつかむ方法を理解している。 読提示された話題を把握し、論旨に沿って本文を読んでいる。 【思】「マヨネーズの穴」と「デザイン」の共通点をまとめ、「デザイン」の何が「マヨネーズの穴」のようなのかを的確に捉えている。 【態】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】日常の気づきや発見から見えてくるもののあり方や哲学などの事柄について、自分なりに考えを深めている。	○	○	○	5
C 単元 評論 解析A 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学と日常との関わりについて考えを深める。	教材：『紫外線』中村桂子 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】全文を正しく音読している。 【知】具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。 【思】紫外線について述べた具体例に当たる部分の内容をまとめ、それがどのようなことを説明するために出された例かを考察している。 【思】筆者が科学に対してどのような向き合い方をすべきであると考えているかをまとめている。 【態】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】本文中の例を参考に、自分の知っている身近な例を探し、科学と日常との関わりについて考えを深めている。	○	○	○	5
定期考査						○	○	○	1
D 単元 評論 II 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文学作品の解釈における読者の存在の重要性と意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高度の「読み」の必要性と創造性を把握し、創造的な読みを試みることによって、自らの読書生活を豊かにする。 ・自らの読書経験の中での「解釈の多義性」にまつわる経験を振り返る。	教材：『読む』外山滋比古 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】全文を正しく音読している。 【知】「読む」行為のさまざまな意味を辞書などで調べ、理解している。 【思】書物と読者の関わりと現状を的確に把握している。 【思】「読む」という行為が意味する内容を、さまざまな次元において理解している。 【思】文学作品においては高度の読みが必要であり、それは創造的な活動であることを理解している。 【思】高度の読みの多様性とおもしろさを「解釈」という観点から理解している。 話自らの読書経験の中での「解釈の多義性」にまつわる経験を、相手に伝わるよう表現を工夫しながら話し合いができる。 【思】話し合いを通じてグループ内で共通の理解を得られるよう、進行のしかたを工夫している。 主本文中の重要語や慣用語の意味を国語辞典などを用いて調べている。 【態】「読む」という動詞の意味を考えることから、教材の内容への関心を高めている。 【態】本文を踏まえて、創造的な読みを実際に試みている。 【態】文学作品を「読む」ことについて論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	○	○	○	6

1
学
期

2 学 期	E 単元 評論II 【知識及び技能】 ・小説の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことで、描かれている世界を深く理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者との心の交流やその難しさについて考えを深める。 ・外山滋比古「読む」で述べられた「解釈の多義性」について、「神様」というタイトルの意味を自分なりに解釈することを通じて考察を深める。	教材：〈知〉の深化『神様』川上弘美 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○ ○ ○	【知】全文を正しく音読している。 【知】慣用表現や表記の違いに込められた意図やその効果を理解している。 【思】文体の特色や設定を理解しながら読むことができる。 【思】登場人物それぞれの「くま」に対する接し方の違いに着目し、それらにどのような心情が込められているか理解している。 【思】外山滋比古「読む」で述べられた「解釈の多義性」を踏まえ、「神様」というタイトルを自分なりに解釈し、そのように解釈した根拠を説明することができる。 【能】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【能】全文を音読して、初発の感想をまとめている。 【能】川上弘美とその作品について知っていることを発表し、教材への関心を高めている。 【能】「神様」の続編と見られる「草上の昼食」や川上弘美の他の作品を読むなどして、作者と作品への理解を深めている。	○ ○ ○	6
	定期考査		○ ○ ○		○ ○ ○	1
F 単元 評論 解析B 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代以降のヨーロッパ中心主義やオリエンタリズムに対して考えを深める。	教材：『アラビア語を学ぶ』岡真理 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○ ○ ○	【知】全文を正しく音読している。 【知】「キーフレーズ」が筆者の主要な見解を説明する上での必須表現であることを理解している。 【思】「世界を逆方向から眺める」がキーフレーズとなっていることに気づき、その意味をアラビア語に即して説明できる。 【思】「世界を逆方向から眺める」ことにはどのような意義があるか理解している。 【能】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【能】近代以降のヨーロッパ中心主義やオリエンタリズムに対して安易に肯定するのではなく、批判的な視点からまなざすことができる。	○ ○ ○	3	
G 単元 評論III 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「未来世代」と「現在世代」との利害対立という観点から、環境問題に対して認識を深める。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、環境問題の現状や展望について考察し、意見を述べ合う。	教材：『経済の論理／環境の倫理』岩井克人 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○ ○ ○	【知】全文を正しく音読している。 【知】「言い換えれば」「しかし」など、接続語の働きを正確に理解している。 【知】「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。 【思】「倫理」を意識しながら、全体の構成を的確に把握している。 【思】経済学の基本的な考え方、環境問題に対する一般常識と経済学との考え方の違いを理解している。 【思】未来世代と現在世代の対立という観点から、地球温暖化問題が経済学の論理では解決できないことを理解している。 【思】「信任」関係について把握したうえで、現在世代に倫理的な行動が要請されることを理解している。 【能】本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、資料を効果的に用いながら討論している。 【思】討論を通じて一定の成果が得られるよう、進行のしかたを工夫している。 【能】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【能】環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。 【能】本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べ、自ら問題点を見つけ、その解決策を考えている。 【能】「地球温暖化」や「世代間倫理」について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	○ ○ ○	6	
H 単元 評論IV 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文と引用や資料との関係を正確に捉え、筆者の主張を読み取る。 ・近代から現代への時代の移り変わりを、「食」の問題を通じて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文理解を踏まえて、近代から現代に至る食文化の変容について調べ、考察したことを発表する。	教材：『食の履歴書』湯澤規子 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○ ○ ○	【知】全文を正しく音読している。 【知】知本文の背景となっている、戦前・戦中・戦後それぞれにおける日本の社会情勢を理解している。 【知】本文における引用や、挿入されたグラフと、筆者の主張との関係を理解している。 【思】やなせたかしの「本当の正義」に対する問題意識が、「アンパンマン」を誕生させるきっかけとなったことを理解している。 【思】本文の記述に従って、近代から現代にかけての時代をいくつか区分し、それぞれの時代区分における「食」をめぐる問題を整理している。 【思】「アンパンマン」の引用から始める本文の構成上の効果について、話し合いができる。 【能】読本文の内容やグラフをもとに、近代から現代に至る食文化の変容について調べている。また、調べ、考察したことを、効果的に図表などを用いながら発表している。 【能】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【能】冒頭の「アンパンマン」の引用から筆者の主張へのつながりを考えることを通じて、教材の内容への関心を高めている。 【能】現代の「食」をめぐる問題について、自分の経験に照らしながら調べ、考えている。 【能】「食」について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	○ ○ ○	6	
定期考査		○ ○ ○		○ ○ ○	1	
I 単元 評論IV 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「他者理解」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	教材：『わかるとうする姿勢』鷺田清一 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○ ○ ○	【知】全文を正しく音読している。 【知】「全人的理解」「(主体-客体)の関係」「この非対称」など、注意を要する表現を理解している。 【思】ケアの現場で「全人的理解」が要請されるようになった背景を的確に捉えている。 【思】ひとの「全人的」には捉えがたい複雑さを理解している。 【思】「他者の理解」において大切なことは何かを的確に読み取っている。 【思】「時間的な出来事」とはどういうことかを理解している。 【思】「他者の理解」に向かう姿勢についての筆者の主張を読み取ったうえで、それに対する自分の考えを持ち、その考えを例を挙げながら説明している。 【能】本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【能】「わかる」という言葉の意味を確認することから、教材の内容への関心を高めている。	○ ○ ○	8	

【能】「他者理解」や「コミュニケーション」の問題について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。

【能】本文中の具体例を通して、「わかろうとする姿勢」とは何かを考え

【能】「他者理解」や「コミュニケーション」の問題について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。

飛鳥 高等学校 令和5年度（1年次用） 教科

国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組： 第1 年次 1組～ 6組

教科担当者： 兼子千明 南島順子 春川紀子 山際咲清香

使用教科書： （『探求 言語文化』（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 古典と文化・古文と古語／児のそら寝 【知識及び技能】 ・古語と現代語の違いを理解する。 ・句読点に注意しながら、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・傍訳と脚注を参考にしながら、本文の内容を正しく理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文を学習する意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。	①古文の基礎知識（歴史的仮名遣い、品詞） ②『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 ・古語と現代語の違い。 ・音読。 ・歴史的仮名遣い。 ・本文の内容理解。 ・児の心情読み取り。 ③動詞の活用（四・上一・下一・上二・下二） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】 知歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 【知】 知古語辞典の使い方を理解している。 【知】 知重要古語の意味を理解している。【思】 傍訳と脚注を参照しながら、僧たちの一連の行動、児の心理の推移などの内容を理解している。 【思】 「児のそら寝」の話のおもしろさについて考え、自分の意見を述べている。 【思】 翻案の手順に従って、「児のそら寝」に基づいた物語を工夫して書いている。 【思】 本文の内容に基づいて、児の心情を「心の中のおもしろさ」の形式で表現している。主範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】 現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【態】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。 【態】 この話のおもしろさについて、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	13
		定期考査							
B 単元『沙石集』「鷹使いの見た夢」 【知識及び技能】 ・正しく音読し、現代語訳ができるようにする。 ・「ば」の用法など、古典文法の基礎を理解する。【思考力、判断力、表現力等】 ・当時の「夢」についての考え方を理解する。【学びに向かう力、人間性等】 ・話の展開をもとに「俗」の心情を想像し、表現する。	①『沙石集』「鷹使いの見た夢」 ・音読、現代語訳。 ・「ば」の用法など、古典文法の基礎。 ・当時の「夢」についての考え方。 ・「俗」の心情把握。 ③動詞の活用（四・上一・下一・上二・下二） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】 言葉のまとまりを的確に押さえて、正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 「ば」の用法などの文法事項を理解している。 【思】 脚注を参照しながら、話の展開を理解している。 【思】 古語の意味を理解し、主語を明らかにして、正確に現代語訳している。 【思】 本文の内容に基づいて出家した「俗」の心情を想像し、「俗」から雌鳥に対する思いが分かるように工夫を凝らして手紙の形式で表現している。 【態】 範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】 現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【態】 脚注を参考にしながら、和歌を含む説話の内容を積極的に理解しようとしている。 【態】 昔の人々の「夢」の捉え方を理解し、現代の人々との違いについて積極的に考えている。	○	○	○	6
		B 単元 徒然草 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 【知識及び技能】 ・正しく音読し、傍訳と語注を参考に現代語訳ができるようにする。	②『徒然草』「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 ・音読、現代語訳。 ・助動詞・助動詞等古典文法の基礎。 ・観念性・抽象性の高い文章の内容を、構成や展開に即して捉える。 ・主観理解、時代背景や当時の価値観				【知】 言葉のまとまりを的確に押さえて、正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 「ば」の用法などの文法事項を理解している。 【思】 脚注を参照しながら、話の展開を理解している。 【思】 古語の意味を理解し、主語を明らかにし		

1 学期

<p>・助動詞・助動詞など、古典文法の基礎を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題を理解し、時代背景や当時の価値観を読み取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や心情、または作者の考えなどを的確に捉え、各章段のおもしろさを理解する。</p>	<p>の読み取り。</p> <p>・和文体・和漢混淆文体・説話体の文体の違いの理解 ・登場人物の行動や心情、または作者の考えの理解。</p> <p>③動詞の活用（カ変・サ変・ナ変・ラ変） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>て、正確に現代語訳している。</p> <p>【思】本文の内容に基づいて出家した「俗」の心情を想像し、「俗」から雌鳥に対する思いが分かるように工夫を凝らして手紙の形式で表現している。</p> <p>【態】範読を参考にして、積極的に音読している。</p> <p>【態】現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。</p> <p>【態】脚注を参考にしながら、和歌を含む説話の内容を積極的に理解しようとしている。</p> <p>【態】昔の人々の「夢」の捉え方を理解し、現代の人々との違いについて積極的に考えている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>定期考査</p>						<p>1</p>

C 単元	『伊勢物語』『芥川』 【知識及び技能】 ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・敬語表現の概要について理解する。 ・和歌の修辞技法への理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌の修辞技法への理解を深める。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文の展開や和歌の解釈に留意して内容を理解し、当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動やその背景にある心情について、自分の考えを発表したり文章で表現したりできるようにする。	①『伊勢物語』『芥川』 音読、現代語訳。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解。内容把握。 ・歌語表現の概要理解。 ・和歌の修辞技法。 ・歌物語における和歌の役割。当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。		【知】全文を正しく音読している。 【知】重要古語の意味を理解している。 【知】助動詞「らむ」、助詞「さへ」、「なむ」の識別、基本的な文法事項を理解している。 【知】歌物語における和歌の役割を理解している。 【知】和歌の修辞技法（序詞・掛詞・縁語・折り句）を理解している。 【知】文学史的知識を身につけている。読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 【思】範読を参考にして、積極的に音読している。 【思】重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 【思】周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 【態】『伊勢物語』全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。 【態】歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている。		7
D 単元『土佐日記』『門出』	【知識及び技能】 ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助動詞・助詞を中心に文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・古典常識についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の表現上の工夫を理解し、それに合った表現を用いて文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日記に描かれた平安時代の旅の様子や登場する人々の心情を理解する。	②『土佐日記』『門出』 音読、現代語訳。 ・助動詞・助詞を中心に文法事項への理解、内容把握。 ・古典常識。 ・日記に描かれた平安時代の旅の様子や登場する人々の心情理解。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。		【知】全文を正しく音読している。 【知】重要古語の意味を理解している。 【知】助動詞「る」「り」「まし」、「なり」「ぬ」「せ」の識別、呼応の副詞などについて、基本的な文法事項を理解している。 【知】月の異名、時刻の表し方、門出や方違への習慣など、古典常識について理解している。 【知】紀貫之と『土佐日記』について、文学史的知識を身につけている。読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】諧謔・臚化・対比などの表現に注意しながら、内容を正確に読み取っている。 【態】範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】重要古語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【態】紀貫之と『土佐日記』について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。 【態】古典に関する知識について関心を持って調べ、本文に表現された世界を深く理解しようとしている。		6
定期考査						1
2 学期	E 単元 漢文を学習するということ／漢文の基礎 【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を理解する。 ・漢語の構造に日本語と語順が同じものと語順が異なるものがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文訓読によって出来上がる「漢文脈」について認識する。 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を学習する意義を認識する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。	①漢文入門 ・漢文を学習する意義。 ・漢文の構造と訓読の方法。 ・漢語の構造理解。 ②推敲（故事成語） ・訓読。 ・言葉の意味と由来の理解。 ・内容理解。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。		【知】「漢文」とは何かを理解している。 【知】日常生活で使う漢語について、その構造を理解している。 【知】漢和辞典の使い方を理解している。 【知】送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 【知】書き下し文の決まりや置き字について理解している。 【知】主な再読文字の読みと意味について理解している。 【知】主な返読文字について理解している。 【知】漢文特有の構造について理解している。 【知】漢文に特有の語や、否定形の句形について、その読みと意味を理解している。 【知】話の背景にある科挙制度の概要や当時の詩の役割を理解している。 【知】「推敲」という言葉の意味と由来を理解している。 【思】書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。 【思】訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 【思】置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を現代語訳している。 【思】漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 【思】脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】場面と登場人物の言動を整理しながら韓愈の心情を想像し、自分の考えを述べている。 【態】範読を聞き、書き下し文を参考にして、積極的に音読している。 【態】日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べている。 【態】返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返している。 【態】「推敲」という言葉の意味と由来を漢和辞典を用いて調べている。 【態】韓愈の心情について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。		7

	<p>F 『羅生門』 芥川龍之介 /比較で深める羅城門の上層に登りて死人を見る盗人のこと</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・古文を正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・古典作品と近代以降の文章の関わりを理解し、古典作品の翻案について理解を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結末部分の改稿について考察し、表現上の効果を捉える。 ・「羅生門」と比較しながら読み、各作品の表現的特徴と主題を的確に読み取る。 	<p>『羅生門』 芥川龍之介 /比較で深める羅城門の上層に登りて死人を見る盗人のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・結末部分の改稿について考察し、表現上の効果の違いを捉える。 ・古典作品と近代以降の文章の関わりを理解し、古典作品の翻案について理解を深める。 ・「羅生門」と比較しながら読み、各作品の表現的特徴と主題を的確に読み取る。 <p>・音読、現代語訳。</p> <p>・古典作品と近代以降の文章の関わりを理解し、各作品の表現的特徴と主題の読み取り。</p> <p>・形容詞・形容動詞の活用</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】全文を正しく音読している。</p> <p>【知】老婆に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。</p> <p>【知】作者への理解を深めている。</p> <p>【知】歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。</p> <p>【知】重要古語の意味を理解している</p> <p>【知】「今昔物語集」など、日本の説話についての文学史的知識を身につけている。</p> <p>【思】冒頭部分から作品の舞台背景を的確に捉えている。</p> <p>【思】下人の境遇や人物像を把握している。</p> <p>【思】下人の心理と行動の変化を的確に読み取っている。</p> <p>【思】老婆との会話によって下人の考えがどう変化したか理解している。</p> <p>【思】作品の主題について考察している。</p> <p>【思】結末部分について改稿前と改稿後を読み比べ、読後の印象の違いについて、自分の考えをまとめている。</p> <p>【思】脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。</p> <p>【思】登場人物の行動や考え、作品に描かれている都の様子などを、的確に読み取っている。</p> <p>【思】本文と「羅生門」とを読み比べ、その設定や表現の相違点から各作品の主題を理解し、芥川龍之介の創作性についての的確に捉えている。主本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。</p> <p>【態】芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。</p> <p>【態】下人の生き方から、人間の生き方への認識を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>F 『平家物語』 「木曾の最期」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・係り結び、音便、敬語など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・物語の内容を理解し、登場人物の行動や心情を読み取る。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き生きと音読し、語り物としての作品の魅力を楽しむ。 	<p>『平家物語』 「木曾の最期」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読、現代語訳。 ・係り結び、音便、敬語など文法事項。 ・内容把握。 ・軍記物語の表現上の特色理解。 ・登場人物の行動や心情読み取り。 ・平曲を鑑賞する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】全文を正しく音読している。</p> <p>【知】重要古語の意味を理解している。</p> <p>【知】係り結びについて理解している。</p> <p>【知】音便について理解している。</p> <p>【知】敬語表現の種類や用法について理解している。</p> <p>【知】「平家物語」について、文学史的知識を身につけている。</p> <p>【思】脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。</p> <p>【思】文体の特徴を理解しながら、生き生きと音読している。</p> <p>【思】全体の構成や展開に注意し、内容を正確に読み取っている。</p> <p>【思】〔祇園精舎〕冒頭の文章に表れている思想を理解し、作者の意図を的確に読み取っている。</p> <p>【思】〔木曾の最期〕登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曾義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきとを、比較・対照しながら理解している。</p> <p>【態】範読を参考にして、積極的に音読している。</p> <p>【態】重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。</p> <p>【態】源平の合戦をめぐる時代状況について関心を持ち、調べている。</p> <p>【態】武士の装束、武器と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。</p>	○	○	○	8
3 学期	<p>G 漢詩 五言律詩／七言律詩</p> <p>〔登岳陽樓〕</p> <p>〔送友人〕</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杜甫、李白について、文学史的知識を持つ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>〔登岳陽樓〕</p> <p>〔送友人〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読。 ・内容や情感を理解。 ・律詩の表現形式。 ・杜甫、李白について。 	○	○	○	<p>【知】律詩の形式を理解している。</p> <p>【知】各詩の詩形・押韻を正確に理解している。</p> <p>【知】それぞれの詩の対句表現について、何と何が対照されているか、正確に理解している。</p> <p>【知】漢文に特有な語について、その読みと意味を理解している。</p>	○	○	○	

<p>・漢詩の簡潔な表現に込められた内容や情感を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・律詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。</p>	<p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。 【知】 作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 【思】 漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 【思】 脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 【思】 [登岳陽樓] 前半（叙景）と後半（叙情）の対照的な構成を的確に捉えている。 【思】 [送友人] はるか遠方へ旅立つ友人を送る借別の情を的確に捉えている。 【態】 範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】 押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。 【態】 詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 【態】 作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査		○	○	○		○	○	○	1 合計 70

	<p>【学びに向かう力、人間性等】 「芸術」と「科学」の持つ魔術性について理解を深める。</p>	<p>【意】 本文内容の正しい理解を踏まえて、取手端の科学技術についての情報を多角的に収集し、読み手を意識しながらわかりやすく丁寧にレポートにまとめようとしている。</p>	○	○	○																		10
2 学 期	<p>D 単元 境界をこえて 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文学においてのみ「見えぬものを見る」ことが可能になるという筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学における「境界」の意味について思索を深める。</p>	<p>教材：『見えぬものを見るということ』 浅田次郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○																		10
2 学 期	<p>E 単元 評論Ⅲ 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、内容を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。</p>	<p>教材：『現実・相貌・物語』 野矢茂樹 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○																		10
	<p>二学期中間考査</p>																						
2 学 期	<p>F 単元 論文を読む 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、「こころ」における「先生」の淋しさの本質について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論文の内容をきっかけとして、小説「こころ」に関心を抱く。</p>	<p>教材：『淋しい人間―「こころ」を通じて』 山崎正和 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○																		10

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 1組～6組

教科担当者：片岡恭平

使用教科書：（高等学校古典探究（数研出版））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるよう	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元：歌物語 【知識及び技能】 ・歌物語における和歌の役割を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しませる。	教材：初冠（伊勢物語） ・それぞれの歌について修辞法を確認する。 ・「男」が着ていた「狩衣の裾」を切り取って歌を書いたのはなぜか、考える。 ・「かくいちはやきみやび」とは「男」のどのような言動を指して言ったものか、説明する。 ・「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌の類似点・相違点を考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕 【態】粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	○	○	○	4
B 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 ・類聚的章段の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。	教材：すさまじきもの（枕草子） ・第二段落では、何が「すさまじきもの」とされているか、まとめる。 ・「ゆるぎありきたるも、いとをかし。すさまじげなり」とはどういうことか、説明する。 ・現代語「すさまじい」の意味を調べ、古語「すさまじ」からの意味変遷の歴史をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	3
C 単元：故事 【知識及び技能】 ・「買履忘度」「漱石枕流」という言葉の意味と由来を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較短的な文章を読み、漢文を読む楽しみを味わわせる。 ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わわせる。	教材：買履忘度（韓非子）、漱石枕流（世説新語） ・訓読で教材を朗読する。 ・音読みによる直読で教材を朗読する。 ・口語訳で教材を朗読する。 ・三種類の朗読から受ける印象の違いを話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。〔2ウ〕 【思】「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)ク〕 【態】朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。	○	○	○	3

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作者が理想とする生き方について考えさせる。 		○	○	○		○	○	○	3
<p>一学期期末考査</p>									
<p>I 単元：随筆(□)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品が書かれた時代背景を理解させる。 ・ 和漢混淆文の美しい文体を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。 	<p>教材：ゆく河の流れ（方丈記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「世の中にある人と栖と、またかくのごとし」について、「人と栖」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・ 「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔(1)エ〕</p> <p>【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>【態】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>J 単元：日記文学(□)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高めさせる。 	<p>教材：東路の道のはて（更級日記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語を読みたいと思う気持ちが表れている表現を順に抜き出す。 ・ 「人知れずうち泣かれぬ」という作者の気持ちを説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>K 単元：日記文学(□)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高めさせる。 	<p>教材：物語（更級日記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作者が『源氏物語』を読むことに没頭していることがわかる表現を抜き出し、そのときの気持ちを考える。 ・ 「いとほかなく、あさまし」というのは、いつの時点のどのような気持ちを表現したのか、考える。 <p>・ 『源氏物語』に登場する「夕顔」や「浮舟」がどのような女性なのか調べ、作者がこの二人を取り上げた理由を考える。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>【思】 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔A(1)キ〕</p> <p>【態】 『源氏物語』の「夕顔」や「浮舟」について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	3

<p>L 単元：日記文学Ⅱ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、作者のものの考え方や感じ方を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の解釈を通して、作者の心情表現の論理を考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『平家物語』と関連づけながら、人間関係と内容を理解させる。 	<p>教材：なべて世の（建礼門院右京大夫集）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恋人の死を受けとめかねて苦しむ作者の様子がどのように表現されているか、抜き出す。 ・「なべて世の……」「悲しとも……」の歌に込められている作者の気持ちを説明する。 ・『建礼門院右京大夫集』と『平家物語』で描かれる平資盛の人物像や逸話について調べる。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔A1〕キ</p> <p>【態】平資盛の逸話について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>M 単元：史伝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解させる。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解させる。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わわせる。 	<p>教材：鴻門の会（史記）前半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鴻門の会」の読解を踏まえ、項羽が范増の指示に応じなかった理由を考えて話し合う。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ</p> <p>【態】本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>二学期中間考査</p>									
<p>N 単元：物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取らせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の構成や内容について関心を持たせる。 	<p>教材：光源氏誕生（源氏物語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、まわりの人々ははどう思ったか、説明する。 ・「一の皇子」と「玉の男皇子」とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A1〕オ</p> <p>【態】登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>O 単元：物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取らせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の構成や内容について関心を持たせる。 	<p>教材：小柴垣のもと（源氏物語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生ひ立たむ……」と「初草の……」の歌について、「若草」「露」「初草」が何をたとえているか、それぞれの歌は何を訴えようとしているか、説明する。 ・光源氏は「女子」のどこに興味をひかれているのか、説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ</p> <p>【態】積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	3

M 単元：史伝 【知識及び技能】 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解させる。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・長めの文章を読むことにより訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わわせる。	教材：鴻門の会（史記）後半 ・「鴻門の会」の読解を踏まえ、劉邦が鴻門から脱出することができた理由を考えて話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。			【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。					3	
二学期期末考査										
Q 単元：和歌・歌謡・俳諧 【知識及び技能】 ・紀貫之と「古今和歌集」の文学史的位置づけを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌謡を読んで、作者の和歌についての思想を読み取らせる。	教材：やまと歌は・六歌仙（古今和歌集仮名序） ・作者は和歌をどのようなものとしてとらえているか、その本質と効用に分けて整理する。 ・作者は六歌仙の歌をそれぞれのようにとらえて評価しているか、整理し、考える。 ・脚注にあげた六歌仙の歌について、歌意をとらえ、鑑賞文を書く。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。			【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 【態】学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。						3
R 単元：歴史物語 【知識及び技能】 ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持たせる。	教材：花山天皇の出家（大鏡） ・「さり」と「さりとも」「さること」の「さり」「さる」が指す内容を説明する。 ・花山天皇の出家はどのように行われたのか、道兼の行動に注意しながらまとめる。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。			【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。						3
S 単元：歴史物語 【知識及び技能】 ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取らせる。	教材：南院の鏡射（大鏡） ・道長と伊周はそれぞれのどのような人物として描かれているか、まとめる。 ・道隆が、「色青く」なったり、「な射そ」と言ったりした理由を考察する。			【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解を深めている。〔A(1)イ〕						

	<p>・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持たせる。</p>	<p>える。</p> <p>・「いま二度延べさせ給へ」という発言の真意はどこにあるのか、話し合う。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>			<p>について評価している。[A(1)イ]</p> <p>【態】一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>				3	
	<p>T 単元：軍記物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・軍記物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・「平家物語」に特徴的な音便形に注意して生き生きと音読し、語り物としての魅力を味わわせる。</p>	<p>教材：壇ノ浦（平家物語）</p> <p>・二位殿の言葉から、安徳天皇に対するどのような思いが感じ取れるか、考える。</p> <p>・知盛の言動からどのような人物像が浮かび上がってくるか、話し合う。</p> <p>・本文の解釈を踏まえ、地の文と各登場人物に役割を分けて朗読劇をする。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>			<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。[2イ]</p> <p>【思】「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。[A(1)オ]</p> <p>【態】積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って朗読劇に取り組もうとしている。</p>				3	
3 学 期	<p>U 単元：思想</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・「論語」や「老子」の読解を通して、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解させる。</p> <p>・「老子」の思想と共通する部分が含まれている現代の評論を読んで、筆者の着眼点や意見を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・孔子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・「論語」の文章の特色を理解して読み味わわせる。</p> <p>・「論語」や「老子」の思想が現代社会に示唆を与えていることについて関心を持たせる。</p>	<p>教材：論語・老子/探究の扉 未来に備える遺伝子</p> <p>・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方の共通点を考える。</p> <p>・「老子」の思想と共通する部分が含まれている現代の評論を読んで、筆者の着眼点や意見を理解させる。</p> <p>・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>			<p>【知】先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[2エ]</p> <p>【思】「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。[A(1)オ]</p> <p>【態】諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見だし、積極的に文章に表そうとしている。</p>				3	
	三学期学年末考査									
	<p>V 単元：随筆(□)</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・作品が書かれた時代背景を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・随筆を読み、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。</p>	<p>教材：花は盛りに（徒然草）</p> <p>・本文で述べられている「月の見所」「花の見所」をまとめる。</p> <p>・「男女の情け」における「始め終はり」とは、どのような状態を言うのか説明する。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>			<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。[2イ]</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。[A(1)イ]</p> <p>【態】粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。</p>				3	

	<p>W 単元：随筆(□)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」についての理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随筆評論を読んで、作者の思想や感情を読み取らせる。 	<p>教材：兼好法師が詞のあげつらひ（玉勝間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「花の散り、月の傾くを慕ふ」ことについて、兼好法師と本居宣長はそれぞれどのように考えているか比較する。 ・「あだし野の露」の段に対する批評が展開されている本文の続きを読んで、それぞれの内容を比較する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕</p> <p>【態】 粘り強く兼好法師と本居宣長の主張の違いを考え、今までの学習を生かして内容を比較整理しようとしている。</p>	○	○	○	3
										合計
										70

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次） 教科 国語 科目 古文講読2

教科： 国語 科目： 古文講読2 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2年次 1組～ 6組

教科担当者： (1～6組：阿部浩子)

使用教科書： (高等学校古典探究(数研出版))

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古文講読2

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・書	読						
A 単元：歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語における和歌の役割を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：初冠（伊勢物語） ・それぞれの歌について修辞法を確認する。 ・「男」が着ていた「狩衣の裾」を切り取って歌を書いたのはなぜか、考える。 ・「かくいちはやきみやび」とは「男」のどのような言動を指して言ったものか、説明する。 ・「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌の類似点・相違点を考える。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。【A(1)エ】 【態】 粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	○	○	○	6
B 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「枕草子」の随想的章段・類聚的章段・日記的章段におけるそれぞれの特色を理解させる。 定期考査	教材：すさまじきもの（枕草子） ・第二段落では、何が「すさまじきもの」とされているか。まとめる。 ・「ゆるぎありきたるも、いとをかし。すさまじげなり」とはどういうことか。説明する。 ・現代語「すさまじい」の意味を調べ、古語「すさまじ」から意味変遷の歴史をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】 「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	6
C 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話が示す教訓性について考察させる。	教材：大江山（十訓抄） ・「丹後へ遣はしける人は参りたりや」とは、どのようなことを言おうとしたのか説明する。 ・「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・「返歌にも及ばず、袖を引き放ちて、逃げられけり」とは、誰がなぜそのようなことか説明する。 ・「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】 【態】 積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
D 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話が示す教訓性について考察させる。	教材：兼盛と忠見（沙石集） ・『沙石集』の編者が、忠見のあり方をどのように評価しているか説明する。 ・忠見のあり方をどのように評価するか、話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【A(1)カ】 【態】 忠見の歌にかける情熱を自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
E 単元：随筆(二) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈させる。 定期考査	教材：九月二十日のころ（徒然草） ・登場人物とそれぞれの性別を確認する。 ・作者はどのようなことに心ひかれていたのか考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	○	○	○	4
F 単元：随筆(三) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】	教材：ゆく河の流れ（方丈記） ・「世の中にある人と栖と、またかくのごとし」について、「人と栖」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【1エ】 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	○	○	○	2

進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次用） 教科 国語 科目 文章表現

教科：国語 科目：文章表現 単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 選択科目

教科担当者：（1～6組：會田哲也）

使用教科書：（なし）

副教材：（筑摩書房「ちくま小説入門改訂版」筑摩書房「中高生のための文章読本」京都書房「基礎からの国語表現の実践2訂版」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしてるとともに、言語感覚を開き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 文章表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。	論理的に考える力や深く共感する力、豊かな想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、伝え合う力を高める。	言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって読書により自己を向上させ、日本の言語文化に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
長田弘「世界は一冊の本」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また詩の効果的な組み立て方や接続の仕方についてその構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩など作者の使用する表現技法を的確に理解し、作者の思いを読み取り、考えを深める。 表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目・内容 ・さまざまな比喩を見つける。 ・修辭法について理解する。 ・読書の楽しみについて考える。 ・フィクションとノンフィクションの違いについて理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 作品中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩など修辭を理解し、適切に使用することができる。 表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけている。	○	○	○	1
仮名づかい・送り仮名・同音異義語 【知識及び技能】 正しい仮名づかい・送り仮名・同音異義語の使い分けを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・発音どおりに表記するなどの原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・同音異義の漢字と意味を理解し、身につける。	○	○		【知識及び技能】 正しい仮名づかい・送り仮名・同音異義語の使い分けを身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	1
小説への招待・小説の読解 【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、セリフと地の文などについて確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えようとする。	指導項目 ・作中人物の行動や心理をもとにストーリーの展開を捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辭を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○		【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、セリフと地の文などについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えられる。	○	○	○	5
上橋菜穂子「物語ること、生きること」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、構成の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○		【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、構成の仕方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えられる。	○	○	○	2

1 学 期	同訓異字・類義語・慣用表現 【知識及び技能】 同訓異字・類義語・慣用表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・同訓異字の使い分けを理解し、身につける。 ・類義語について理解し、身につける。 ・慣用表現の意味を理解し、身につける。	○ ○	同訓異字・類義語・慣用表現 【知識及び技能】 同訓異字・類義語・慣用表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○ ○ ○	1
	定期考査				○ ○	1
	星新一「ボッコちゃん」 角田光代「ふたり」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またショートショート・短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。ショートショートを書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またショートショートの物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ショートショートのテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。ショートショートを書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。	○ ○ ○	4
	瀧本哲史「ナイチンゲールと統計学」 岡田美智男「弱いロボット」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。	○ ○ ○	4
	正しい敬語・文の乱れ・推敲 【知識及び技能】 正しい敬語・文の乱れへの注意・推敲の仕方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・敬語の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。	○ ○	【知識及び技能】 正しい敬語・文の乱れへの注意・推敲の仕方を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書けた。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できた。	○ ○ ○	1
	文を短く・的確な表現・文体への意識 【知識及び技能】 文を短くする・的確な表現・文体を意識する態度を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。	○ ○	【知識及び技能】 文を短くする・的確な表現・文体を意識する態度を身につけられる。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○ ○ ○	1
	稲葉真弓「唇に小さな春を」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。	○ ○ ○	2
	定期考査				○ ○	1

<p>穂村弘「麦わら帽子のへこみ」</p> <p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合わせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	2
<p>半村良「筆筈」</p> <p>小池昌代「どよどよ」</p> <p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	4
<p>文の役割・要約・接続詞</p> <p>【知識及び技能】 文の役割、要約する技術、接続詞の使い分けを身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。 	○	○		<p>【知識及び技能】 文の役割、要約する技術、接続詞の使い分けを身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	1
<p>郡司芽久「キリン解剖記」</p> <p>伊藤亜紗「体、この不気味なもの」</p> <p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合わせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	4
<p>段落分け・主題・構想・書く</p> <p>【知識及び技能】 文章作成の実際について技術を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。 	○	○		<p>【知識及び技能】 文章作成の実際について技術を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	1
<p>定期考査</p>						○	○	1

<p>中村文則「郵便局で」 小川洋子「ひよこトラック」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>水野敬也「顔ニモ負ケズ」 オードリー・ダン「ジェンダーから自由になる」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
<p>萩尾望都「柳の木」 吉本ばなな「満月」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>海老原宏美「わたしが障害者じゃなくなる日」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>						○	○		1

3 学 期	氷室冴子「なんて素敵にジャパネスク」 村上春樹「四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	4	
	ブレイディみかこ「君たちは社会を信じられるか」 菅野仁「女だち幻想」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	E・A・ポー「黒猫」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	3
	「評論と楽しく付き合う4つのコツ」 菅野一徳「読書は僕たちをグーグルマップにする」 「読書の手引き」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	発表 創作・評論・プレゼンテーションなどから形式を選び、発表を行う。お互いに良い所を褒め合う。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	定期考査										1
										合計	
										70	

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次用） 教科 国語 科目 現代文基礎

教科：国語 科目：現代文基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 年次 選択科目

教科担当者：（1～6組：會田哲也）

使用教科書：（なし）

副教材：数研出版「国語常識・作文ステップアップ」 数研出版「文構造確認ノート」

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代文基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の常識や文章を書く技能を身につける。	論理的に考える力や深く共感する力、豊かな想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、伝え合う力を高める。	言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって読書により自己を向上させる態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
漢字・熟語の読み書き 【知識及び技能】 正しい漢字・熟語を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・発音どおりに表記するなどの原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・同音異義の漢字と意味を理解し、身につける。		○	○	【知識及び技能】 正しい漢字・熟語を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	6
言葉の単位・文節の働き 【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・文節に分けて考え、適切な文を書く。 ・適切な文を書くことで、適切な文章を書く。 ・主語・述語など文節どうしの関係を理解する。		○	○	【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1
漢字・ことわざ・慣用句・故事成語の読み書き 【知識及び技能】 正しい漢字・ことわざ・慣用句・故事成語を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・常識レベルのことわざ・慣用句・故事成語を覚える。 ・ことわざ・慣用句・故事成語を使って、正しい文が書ける。	○	○	○	漢字・ことわざ・慣用句・故事成語の読み書き 【知識及び技能】 正しい漢字・ことわざ・慣用句・故事成語を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	5
文節の働き・連文節 言葉の単位・文節について正しい知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・文節に分けて考え、適切な文を書く。 ・適切な文を書くことで、適切な文章を書く。 ・主語・述語など文節どうしの関係を理解する。		○	○	【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1
時事用語の学習・敬語を身につける 【知識及び技能】 時事用語について知り、正しい敬語を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・常識レベルの時事用語・正しい敬語を理解し、身につける。 ・謙譲語・尊敬語の使い分けについて理解し、身につける。	○	○		【知識及び技能】 時事用語について知り、正しい敬語を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	6

飛鳥 高等学校 令和5年度

教科

国語

科目 劇表現

教科：国語

科目：劇表現

単位数：2 単位

対象学年組：第 23 年次 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 椎原 克知、片岡 恭平 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活にお

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深

科目 劇表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。	演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。	演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数	
1 学 期	A 単元 導入 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	受信発信系、信頼協力系、洞察系、瞬発力発想系、創造系、各種シアターゲームで体と心をほぐし、マイズナーテクニックを行う準備、表現者になるための準備をする。 *各種シアターゲームは今後毎回授業の初めにウォーミングアップとして行う。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	14
	B 単元 マイズナーテクニックⅠ 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）を行い、自分の課題を認識し、それぞれのペースでその課題に立ち向かう。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	14
2 学 期	C 単元 マイズナーテクニックⅡと台本 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）に新たな負荷（アクティビティ）を加えた繰返しを行う。台本を渡し読みし、セリフを覚える。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	9
	D 単元 マイズナーテクニックⅢと台本 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）に新たな負荷（イマジナリーサーカスタンス）を加えた繰返しを行い、台本の立ち稽古を行う。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	9

<p>垣ホリる版皮を養う。</p>						
<p>E 単元 台本稽古</p> <p>【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。</p>	<p>各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰り返し）はウォーミングアップとして行い、台本稽古をメインに行う。</p>	<p>【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。</p>	○	○	○	10

3 学 期	<p>F 単元 本番</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。</p>	<p>稽古の成果を発表する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。</p>	○	○	○	14
							合計